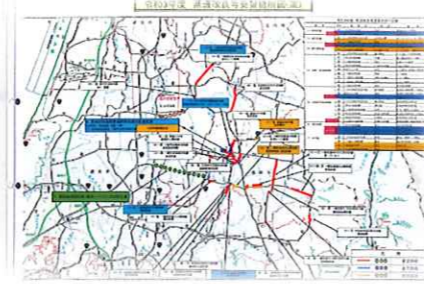


# 庄内南部中央道路（国道7号・国道47号連絡道路）

## 建設期成同盟会と共に関係機関に対し早期事業化を要望!

庄内南部中央道路は、日本海沿岸東北自動車道と地域高規格道路新庄酒田道路による高規格幹線道路の広域ネットワークについて、新潟方面と最上地方を短距離・短時間で結びながら、鶴岡市へのアクセスを改善するため、鶴岡西ICに直結する国道7号と藤島地内の国道345号とを結ぶ新規幹線道路を建設するものであり、スムーズな交通流の展開が図られることで、人や物の流れの効率化や観光・雇用の増加などのストック効果が期待されます。



庄内地域の生活環境についても、庄内東部地域から庄内空港、鶴岡市街地北部の各工業団地、また、防災、緊急医療の拠点である鶴岡市消防本部や鶴岡市立荘内病院とを結ぶルートとして相当の時間短縮が見込まれ、利便性のみならず安全・安心の向上にも寄与するものです。

引き続き、交通ネットワークに関する課題、時代の変化などを見据え、建設期成同盟会と共に関係機関に対して早期事業化を要望していきます。

## 政策提言する県議会 ～重要性を増す県議会の役割～

議会の本来的な役割は「行政監視」であります。

常任委員会は、議案などについてその専門ごとに詳しく審査する常設の委員会であり、その審査結果は、本会議での採決の際に重要な判断材料となるため、委員会の所管事項について認識を深める調査・活動を行っています。



また、現在設置している3特別委員会は、地方創生の「まち」「ひと」「しごと」に着目し、それぞれ決定した審査テーマについて議論し、「提言型委員会」として知事に政策提言を行っています。

## 〈令和3年度山形県議会 所属委員等〉



- 文教公安常任委員会(委員長)
- 予算特別委員会(委員) ○健康医療・女性若者活躍対策特別委員会(委員)
- 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会(委員)
- 山形県議会広報・広聴委員会(副委員長)
- 山形県開発推進協議会(理事)
- 山形県議会危機管理委員会(委員) ○難病等対策推進議員連盟(幹事) 他

### 〈お知らせ〉

今年の「県政報告会」「グラウンドゴルフ大会」「ゴルフコンペ」などについては、関係組織や実行委員会と協議・検討した結果、中止させていただきました。

発行人：山形県議会議員 高橋 淳  
〈高橋 淳事務所〉発行日：令和3年8月1日  
〒999-7601 鶴岡市藤島字古楯跡100-1  
Tel：0235-26-8731 / Fax:0235-26-8732  
Mail: takahashi.jun.kouenkai@gmail.com  
〈山形県議会／県政クラブ執務室〉  
Tel：023-630-3211（4階受付）

※皆様からの県政に対するご意見をお待ちしております。



## 明るい未来の創造に向けて!

山形県議会議員 じゅん

# 高橋 淳 県政報告



No.4



■発行日：2021年8月1日 山形県議会議員 高橋 淳事務所 発行  
〒999-7601 鶴岡市藤島字古楯跡100-1  
Tel：0235-26-8731 / Fax:0235-26-8732 / Mail: takahashi.jun.kouenkai@gmail.com  
■山形県議会（県政クラブ執務室） Tel：023-630-3211（4階受付）

## 新型コロナ克服、山形経済再生に向けて、皆さんと共に!!

この2年間を振り返ってみると、山形県沖地震被害、そして、未曾有の大災害となった新型コロナウイルス感染症。そして県内では、昨年7月の記録的な豪雨災害、12月は鶴岡での豚熱発生。年末の寒波と今年に入ってから記録的な大雪と暴風雪被害、春先の農産物への凍霜害・雹害など、災害が絶えない2年であったと思います。

特に、令和2年度の県政運営は未曾有の大災害などにより難局を迎えました。

この間、山形県知事選挙が執行され、現職の吉村美栄子知事が当選されましたが、新型コロナ克服・山形経済再生に向けて、これから大変重要な4年となります。

県政の課題は山積みではありますが、引き続き、新型コロナのみならず、激甚化・頻発化する自然災害の対策など、県民の皆様の「命と健康」を守り、そして多くの皆様の「声」を届け、市町村や関係団体などと連携し、県政発展の一助となるよう努めてまいります。



## 元気な高齢農家を後押し!! 債務保証の年齢制限なし!

■地域農業の持続・発展のため、地域農業を支える多様な担い手を支援(オーダーメイド)!!

昨年度、山形県農業信用基金協会は、農家が農業機械(コンバイン等)を購入し、債務保証を行う際の要件としていた年齢制限を独自に撤廃しました(全国初)。

70代でもまだまだ現役で活躍している農家が多い中、コンバインなどの農業用機械を更新する際などの融資は、返済年齢が80歳までとされ、これが足かせとなり、農業から離れざるを得ないケースがありました。



営農意欲の高い高齢農家も少なくない一方、資金が得られず農業機械の更新などが滞れば、農業を続けることが難しくなるのが現状であり、昨年度から、現場の実態に即した柔軟な対応で持続的な営農を後押しできるようになりました。今までの仕事の経験等を踏まえ、一昨年から基金協会やJA等と折衝し対応を頂いたものであります。



鶴岡管内の多くの農家の方々や県内JAなどから、「ありがたい。良かった。」などの声をたくさん頂戴したところです。(^^)/

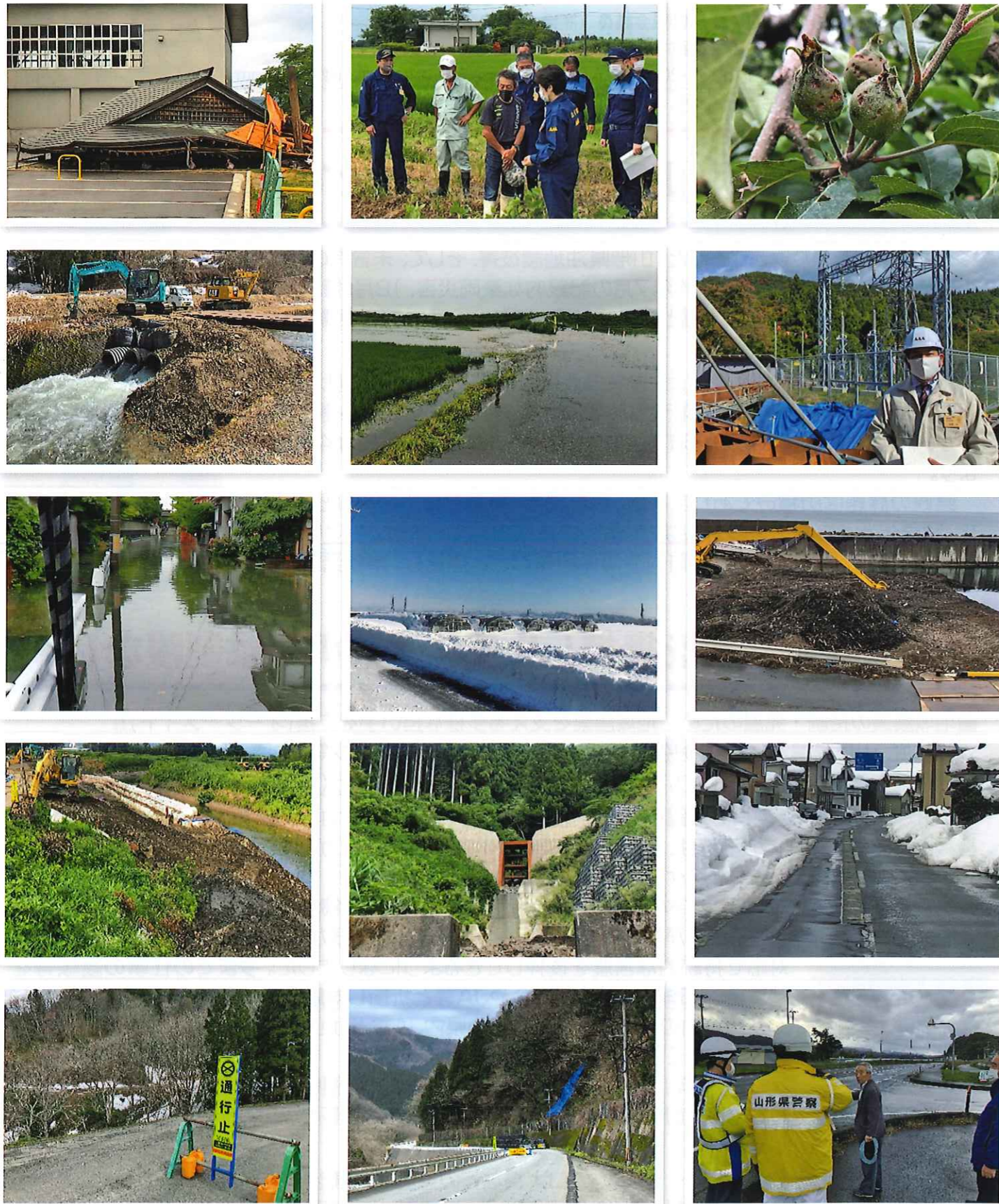
また、今年度山形県では、「元気な地域農業担い手育成支援事業費補助金」として、新規就農者や小規模家族経営の経営発展等の取組みをオーダーメイドで支援します。

人口減少・高齢化・コロナ禍などの急激な環境変化を踏まえ、多くの課題を克服し、生産体制の強化、事業の継承・発展等に取り組んでまいります。

## 激甚化・頻発化する自然災害等への迅速な「行動と考動」!

■山形県沖地震災害、台風関連、大雨による豪雨災害、豪雪災害や降雹被害など、鶴岡管内の多くの現地や災害現場に出向き、**多くの課題等を県政に反映**いたしました。引き続き、防災減災やインフラ整備等に向け、鶴岡市、JA、関係団体等と連携し対応していきます。

※吉村県知事も鶴岡の被災地現場へ!! それらが「月山ワイン復興プロジェクト」などに!!



## 新型コロナウイルス感染症対策!! 県認証制度創設!



■県政クラブでは、県内での「**変異株スクリーニング検査及びゲノム解析が可能な体制を確立**」することや、観光業や飲食業等、地域経済が困窮している中、「**山形県新型コロナ対策認証制度**」などを知事へ要望。医療体制にかかわる施策等により、県内外の人々が安心して飲食できる環境を整備し、観光をはじめとした県内経済の再生に!!



## 地域の課題等に耳を傾け、地域に寄り添い、県政を前進!!

■地域の景観形成を維持するため、ふれあいの道路愛護事業(旧山形県マイロードサポート事業)を活用し、私たちが毎日使う道路をきれいな道路にするために、地域の多くの皆さんと県、市町村が協力し、「**私たちの道は、私たちの力できれいにする**」取組みとして、「**ふれあいロードの会**」を立ち上げました。

また、閉館した「旧いこの村庄内」の名称復活に向け、多くの皆様からご支援ご協力を賜りました。そして、新型コロナにより影響を受けている各事業者・生活困窮者等への各種サポート(支援)と要請活動、教育・スポーツ振興、健康被害相談や経営・税務・相続などのアドバイス。コロナ禍の厳しい環境の中、鶴岡市の多くの皆さんとの「**対話**」に感謝申し上げます。

